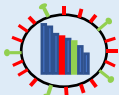


国立環境研究所における野生動物の感染症サーベイランス

生物多様性領域
鍋島 圭

キーワード: 野鳥、鳥インフルエンザ、イノシシ、豚熱

1. 鳥インフルエンザとは？



- ✓ その名の通り **鳥類に感染するインフルエンザ**
- ✓ 16のHA亜型と9のNA亜型に分類されるとも多様なウイルス
- ✓ その中でも **H5とH7亜型の一部は高病原性鳥インフルエンザ (HPAI)** と呼ばれ、鳥類に強い病原性を示す
- ✓ 日本には **渡り鳥** を経由して侵入し、**養鶏業に甚大な被害** を与えている
- ✓ 国立環境研究所では野鳥における鳥インフルエンザのサーベイランスを行っている

2. これまでの鳥インフルエンザサーベイランス結果

- ✓ H24～R4年度にかけての死亡野鳥の検査数は合計 **9107羽**、渡り鳥の糞便の検査数は合計 **24670検体**
- ✓ HPAIの検出数は214件 (**R4年度だけで123件！！**)
- ✓ 野鳥でHPAIが増えると養鶏業への被害も大きくなる傾向



図1 全国の死亡野鳥におけるHPAI陽性数と養鶏におけるHPAIの被害数

3. 豚熱とは？

- ✓ 豚とイノシシに感染する **ウイルス感染症** の一つ
- ✓ 2018年9月に観光客の汚染物品から日本に侵入しイノシシに感染、その後養豚場に伝播したと考えられている
- ✓ 国立環境研究所ではこれまでにイノシシで発生が確認されていない地域 (清浄県) と福島県の帰宅困難区域の合計10県のイノシシを対象に豚熱サーベイランスを行っている

4. これまでの豚熱サーベイランス結果

- ✓ H31～R4年度にかけてのイノシシの検査数は合計 **1547頭**
- ✓ 豚熱の検出数は **26件** (うち秋田県2件、福島県24件)
- ✓ このサーベイランスにより、**秋田県と福島県帰宅困難区域のイノシシへの豚熱の侵入をいち早く検出！！**

2020年までの豚熱発生地域

2020年以降の豚熱発生地域

青：陰性イノシシ
捕獲地点
赤：陽性イノシシ
捕獲地点

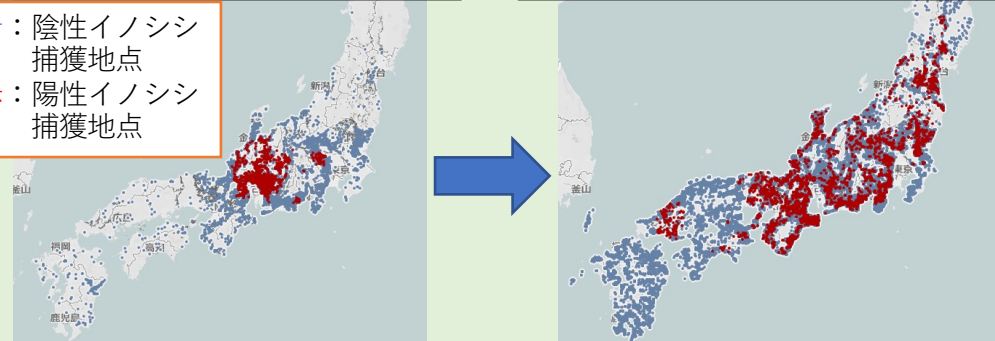


図2 2020年以前と2020年以降の豚熱発生地域
(農林水産省：野生イノシシに対する豚熱の検査情報を基に作成)

5. まとめ

近年、感染症がヒト、家畜、野生動物 (環境) に大きな影響を与えている。国立環境研究所では、ヒトと動物、野生動物の健康を一緒に考えるワンヘルス・アプローチに基づいて研究を進めています。